若中だより

９月号

【《校訓》創造・協調・自律】

北九州市立若松中学校
校　長　大庭　崇彦

2学期が始まりました！！

皆さん、夏休みはどう過ごしましたか？部活動に励んだ、一生懸命に受験勉強を頑張った、久々に親戚と集まり大いに楽しんだ、花火が奇麗だったなど・・・たくさん思い出ができたという声が聞こえました。

命に関わる大きな事故やけが等がなく、無事に２学期を迎えられたことをとても嬉しく思っています。私にとっては、全国で子どもに関わるいろいろな悲しい報道があり、命の大切さ、重さについて考えさせられる夏休みでした。

長かった夏休みが終わり、２学期がスタートしました。まずは規則正しい生活を取り戻して、勉強や運動に集中できる、基盤づくりを行いましょう。**朝ごはんをきちんと食べ、睡眠をしっかり取り、適切に水分補給するなど健康に気を付けてください。**２学期は、体育大会・文化発表会などの学校行事を保護者や地域の方々もとても楽しみにしています。活気のある素晴らしい行事になるように頑張っていきましょう。

始業式の際に、「ありがとう」という言葉について話をしました。ありがとうの語源は「ありがたし」です。つまり、あることが難しいということで、滅多にない、きわめて稀な、貴重だという意味を表した「心の対応」を言葉にしたものです。皆さんはそんな思いで、ていねいに「ありがとう」という言葉を口にしていますか？自分が助けてもらったとき、親切にしてもらったとき、明るい気持ちにしてもらったとき、そういうときに心から「ありがとう」という言葉が、自然に出てくる、そういう人になってほしいと思います。

あいさつの声と「ありがとう」の言葉が飛び交う若松中学校にしていこうと、先生たちも頑張っています。皆さんも少しずつ意識して、習慣を変えて運命を変えることができるようにしてください。

先生の紹介

２学期より、国語科の山下先生（第２学年所属）、ALT のブライス先生が若松中学校の新たな職員として頑張っています。今後ともチーム若松で、子どもたちの声を丁寧に把握しつつ、コミュニケーションを通じて学力向上などに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

先生たちも、自分磨きに励んでいます

夏休み中にも、先生たちは様々な研修に取り組み「自己研鑽」をしています。

９月１日（金）には、日本スポーツコーチング協会の認定講師「江口真弓」様を本校にお招きして「コーチングの効果と活用について」学び合いを行いました。研修の中では、社会で求められる人材育成についてや「自主性」と「主体性」の違い、コミュニケーションを活用してどのように子どもの強みを伸ばしていくかについてなど、先生たちも議論を重ねながら充実した時間を過ごしました。コーチングを活用することにより、学習や運動に最高のパフォーマンスを発揮できるようになるそうです。今後も、若松中のコミュニケーションルールなどを積極的に活用しながら、あなたたちの「主体性」を育てていけるように努力していきます。